

世界子供白書 2005

CHILDHOOD UNDER THREAT

「危機に瀕した子ども時代」

【概略版】

## 【目次】

|               |          |
|---------------|----------|
| 子ども時代の指標      | ..... 2  |
| 主な論点          | ..... 4  |
| 主要な事実：貧困      | ..... 5  |
| 主要な事実：紛争      | ..... 6  |
| 主要な事実：HIV/エイズ | ..... 7  |
| 主要な統計         | ..... 9  |
| 報告書要約         | ..... 12 |

## 子ども時代の指標

---

世界の子どもの総人口

22 億人

貧困下の子ども

10 億人以上

家にトイレがない開発途上国の子ども

3 人にひとり

安全な水を利用できない途上国の子ども

5 人にひとり

保健サービスを利用できない途上国の子ども

7 人にひとり

予防可能な病気が原因で 5 歳の誕生日を迎える前に亡くなる子どもの数

1 日に 2 万 9,158 人

2003 年に死亡した子どもの数

1,060 万人

日本で生まれた子どもの平均余命

82 年

ザンビアで生まれた子どもの平均余命

33 年

低体重状態で生まれてくる子どもの割合

スーダン : 31%

韓国 : 4%

カナダで 2003 年に生まれた子どもの数

31 万 9,000 人

ルワンダで 90 日間に殺害された子どもの数 (1994 年)

30 万人

1990 年以来、紛争で死亡した 360 万人の犠牲者に占める子どもの割合 :

45%

「典型的な」戦争が 5 年間続いた場合の 5 歳未満児死亡率の上昇率 (推定) : 13%

ベルギーの子どもの人口

200 万人

性産業で搾取される子どもの数

200 万人

地雷の製造コスト

1 個あたり 3 米ドル足らず

地雷の除去費用

1 個あたり最高 1,000 米ドル

2003 年の新規 HIV 感染者数 (推定)

500 万人

25 歳未満の HIV 感染者数

250 万人以上

HIV/エイズによる孤児の数

1,500 万人

うち、サハラ以南のアフリカに暮らす孤児の割合

10 人のうち 8 人

|                                 |                          |
|---------------------------------|--------------------------|
| HIV/エイズとともに生きる人々のうち、開発途上国に暮らす人々 | 90%以上                    |
| うち、必要な抗レトロウイルス薬治療が受けられない人々の割合   | 93%                      |
| スウェーデンの電話普及率                    | 1人あたり 1.62 台             |
| バングラデシュの電話普及率                   | 100 人に 1 台               |
| 国の予算全体に占める保健分野への支出割合            | 先進国 15%<br>東アジアと太平洋地域 1% |
| 世界の軍事費（2003 年）                  | 9,560 億米ドル               |
| ミレニアム開発目標達成のために必要な年間追加予算（推定）    | 400 ~ 700 億米ドル           |
| 「児童の権利条約」を批准した国の数               | 192 力国                   |
| 未だに批准していない国の数                   | 2 力国                     |

## 主な論点

---

「子ども時代」という言葉には、子どもたちが健やかに、かつ安全に成長することができる人生の一期間、という意味合いが含まれている。「子ども時代」とは、個々人の成長において他の時期と置き換えることのできないある期間を意味するばかりでなく、その年月の質をも指し占めしている。1989年、すべての国々が児童の権利条約に署名したとき、世界は子ども時代はこうあるべきだという基準を受け入れたのである。

しかし今日、10億人を超える子どもたちの「子ども時代」が脅威にさらされている。世界中の子どもたちの「子ども時代」に対して最も深刻な脅威をもたらしているのは、貧困と紛争、HIV/エイズの問題である。これらの脅威は、それ単独で、あるいはそれぞれが相互作用を及ぼしあって、子どもたちから子ども時代を奪い、生存と幸福、そして未来の可能性を蝕みつつある。

**子ども時代の喪失がもたらす影響は計り知れない。**これらひとつひとつの脅威によって引き起こされる害悪は子ども時代をゆうに越えて子どもたちを脅かし、往々にして次の世代にも引き継がれてしまう。子ども時代が現在のような攻撃にさらされ続けるなら、ミレニアム開発目標は、何ひとつ達成されることはないだろう。

**貧困の影響を最も大きく受けるのは子どもたちである。**開発途上国に生きる子どもの半数以上が、幸福や心身の健全な発達を妨げられている。生存や発達、そして自己の可能性を開花させるために必要な基礎的サービスや物資を奪われているためだ。

**貧困は途上国だけに限った問題ではない。**比較可能なデータが存在する先進国15カ国のうち、11の国々で、過去10年間に子どもの貧困率の顕著な上昇が認められた。

**武力紛争が起こると、子どもたちは最も基礎的な保護すら受けられなくなる。**何百万人もの子どもたちが紛争によって自分の家やコミュニティ、家族から引き離され、強制的に兵士として働かされている。そして、性的暴力を含むさまざまな暴力や空腹、病気やトラウマ（心的外傷）に苛まれているのだ。1990年以来紛争の犠牲となった360万人のうち、約半数近くが子どもである。

**HIV/エイズがもたらす脅威はますます増大し、子どもたちの命と子ども時代を危機にさらしている。**HIV/エイズの感染が最も深刻な国々では、エイズのために子どもの死亡率が劇的に上昇している。何百万人もの子どもたちがエイズで一方、または両方の親を失っている。さらに数百万人の子どもたちが病床、あるいは死の床にある親や保護者とともに暮らし、困難な状態にある。いまやエイズは開発途上国の15歳から49歳の人々の死亡原因の第一位を占め、もはや家族やコミュニティの手には負えない状況に陥りつつある。

## **主要な事実：貧困**

---

開発途上国の子どもの半数以上が、基礎的な物資やサービスを欠いた生活を送っている。

- ・ 6人にひとりの子どもが深刻な飢餓の状態にある。7人にひとりが保健ケアをまったく受けることができない。5人にひとりは安全な水を利用することができず、3人にひとりはトイレなどの衛生設備がない家で暮らしている。
- ・ 6億4,000万人以上の子どもたちが、泥が剥き出しになった床の家で、あるいは家族の人数の割には狭すぎる家で生活している。さらに、3億人以上の子どもたちがテレビやラジオ、電話や新聞のない生活を送っている。
- ・ 1億2,000万人以上の小学校就学年齢の子どもたちが初等教育を受けることができず、その半分以上が女の子である。

貧困は、子どもに対する家族やコミュニティのケア能力を損なう。全世界で、

- ・ 1億8,000万人の子どもたちが最悪の形態の児童労働に携わっている。
- ・ 毎年120万人の子どもたちが人身売買の犠牲になっている。
- ・ 200万人の子どもたちが性産業で搾取されている。そのほとんどが女の子である。

都市部に暮らす子どもに比べ、農村部の子どもは基礎的な物資やサービスを受けられない可能性が2倍、学校教育を受けられない可能性が3倍にもなる。

貧困が子どもたちに及ぼす影響は、収入と貧困という尺度では十分に明らかにすることはできない。たとえば、インドとセネガルの国民一人あたりの収入はほぼ同じレベルだが、インドの子どもにとっては栄養不良の問題がより深刻であるのに対して、セネガルの子どもが直面しているのは学校教育の機会の損失なのである。

世界経済は拡大しつづけているにも関わらず、所得の不均衡が国家間でも、一つの国の中でも拡大している。開発途上国の最貧困層の子どもは、同じ国の最富裕層の子どもに比べて、5歳の誕生日を迎える前に死亡する可能性が2倍以上も高い。

経済制裁は子どもたちに破壊的な影響を及ぼす可能性がある。イラクでは5歳未満児死亡率が1,000人あたり50人（1990年）から125人（2002年）へと、2倍以上に悪化した。ハイチでは、急性栄養不良が1990年の3.4%から94～95年の7.8%に上昇した一方、就学率は90年の83%から94年には57%に低下した。

子どもの貧困は経済的に比較的豊かな国々でも著しく上昇している。1980年代に比べて低所得層の子どもが減った先進国は、カナダ、ノルウェー、英国、および米国の4カ国のみである。2000年に子どもの貧困率が5%を下回った国は、フィンランドとノルウェー、スウェーデンのみである。

## **主要な事実：紛争**

---

武力紛争の標的となる子どもたちがますます増えつつある。1990年代に紛争に巻き込まれて死亡した360万人の半数近く（45%）が子どもであった。

さらに数百万人の子どもたちが、重いケガや生涯にわたって残る障害を負ったり、また、性的暴力やトラウマ（心的外傷）飢えや病気を耐え忍んだ。およそ2,000万人の子どもたちが紛争のために自分の住む家やコミュニティを追われた。

何十万人もの子どもたちが否応なしに暴力を目の当たりにし、また自ら暴力行為に携わることを強いられている。誘拐されたり徴兵によって紛争に駆り出された子どもがみな武器を手にとるわけではない。料理や雑用をさせられたり、あるいは性的奴隸や伝令役、スペイとして働かされる子どもがたくさんいる。女の子は特に脆弱な立場に置かれている。

戦争では、性的暴力が敵を傷つけるための武器として意図的に行われることが往々としてある。ボスニア・ヘルツェゴビナとクロアチアでは、女の子と女性に対するレイプが戦略の一環として行われた。近年のコンゴ民主共和国、シエラレオネ、リベリア、そしてスエダン・ダルフール地方における紛争において、性的暴力は広範囲に行われている。暴力は、紛争によって家を追われた人々を収容する避難民キャンプにおいても引き続き発生している。

また、紛争下の多くの国々ではHIV有病率が高く、それが感染者数急増の温床となっている。ルワンダでは、1994年の大虐殺以降の5年間に2,000人の女性（その多くがレイプ被害者）がHIV検査を受けた結果、80%がHIVに感染していることが判明した。2000人のうちの多くは、暴行を受けるまで性的に活動的ではなかった女性であった。

子どもたちに安全を保証するシステムは、往々にして武力紛争の最中に機能を失ってしまう。法執行機関や学校、保健施設、家族そしてコミュニティは、平時の体制と権限を失ってしまうのだ。

典型的な戦争が5年間続くと、5歳未満児死亡率は13%上昇する。戦争が終了した後の最初の5年間についてみると、5歳未満児死亡率は紛争発生前に比べて11%前後高くなる。10年間にわたって内戦が続いたシエラレオネでは、5歳未満児死亡率が世界で最も高く、出生1,000人あたり284人の子どもが5歳の誕生日を迎えることなく命を失っている。

地雷は毎年1万5,000人から2万人の人々の命を奪っているが、少なくともそのうちの5人にひとりが子どもである。子どもは特に地雷の危険にさらされている。地雷はサイズが小さく、見慣れない形や色をしているために、子どもはオモチャと間違ってしまうのだ。

## **主要な事実：HIV/エイズ**

---

エイズのために何百万人ものおとなが病に倒れ、命を落としている。そのために、子どもたちの生活が大きな混乱に陥っている。また、ますます多くの子どもたちがエイズのために命を落としている。

エイズはいまや、世界の 15 歳から 49 歳の人々の死亡原因の第一位を占める。2003 年、290 万人がエイズで死亡し、うち 50 万人近くが 15 歳未満の子どもであった。また、およそ 480 万人が HIV に感染し、そのうちの 63 万人が子どもであった。

2003 年までに、HIV/エイズとともに生きる 15 歳未満の子どもの数は約 210 万人。1990 年から 2002 年の間に子どもの死亡率が世界で 2 番目、3 番目、4 番目に悪化した国は、世界で最も HIV 有病率が高いボツワナ、ジンバブエ、スワジランドだった。世界的にみると、子どもの死の約 4% がエイズによるものである。

この病気が子どもにもたらす影響が最も顕著なのは、エイズによる孤児の問題である。2001 年から 2003 年のたった 2 年の間に、片方または両方の親をエイズで亡くした 18 歳未満の子どもの数は 1,150 万人から 1,500 万人に増加した。そのうちのおよそ 80% がサハラ以南のアフリカに暮らしている。

HIV/エイズによる孤児の約 90% は拡大家族に引き取られて生活しているが、その拡大家族の対応能力もすでに限界に近づきつつある。さらに何百万人もの子どもたちが、病床や死の床にある家族とともに暮らしている。

乳幼児期は子どもが最も弱い状況にある時期であるが、その期間に母親や保護者が病に倒れたり亡くなってしまうと、子どもは最も基礎的なニーズすら充たされなくなる危険性がある。HIV/エイズは、危害から子どもたちを守ってくれる最初の、そして最善のセーフティネット（安全網）である家族を子どもたちから奪い去ってしまう。

両親をともに亡くした子どもは、学校に通ったり、適切な教育レベルに達することが難しく、せっかく学校に通っていても途中でやめてしまうことが多い。孤児となった子どもたちはまた、そうでない子どもに比べて、最悪の形態の児童労働に従事させられる可能性がはるかに高くなる。最悪の形態の児童労働とはすなわち、農作業や家事労働、性産業、道端での物売りなどである。ザンビアで行われた調査によると、子どものセックスワーカーの約半数が両親ともに死亡してしまった子どもたちであった。また、その他に約 4 分の 1 の子どもたちは片方の親を亡くしていた。

特にサハラ以南のアフリカ地域では、HIV/エイズがコミュニティの能力を損ないつつある。農民や教師、保健員、警察や軍人など、コミュニティの核となる人的資源が HIV/エイズと

の闘いに敗れ、命を落としているのだ。教員や教育システムの面だけに限ってみても、教育機会の削減という悪影響が子どもに及ぶことになる。

# STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2005

## CHILDHOOD UNDER THREAT

### 主要な統計

| 基礎指標                           | 中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体 | 東アジアと太平洋諸国 | 中東と北アフリカ | 南アジア      | サハラ以南のアフリカ | 米州とカリブ海諸国 | 先進工業国   | 世界        |
|--------------------------------|--------------------|------------|----------|-----------|------------|-----------|---------|-----------|
| 総人口(1000人)(2003)               | 406,157            | 1,928,182  | 362,498  | 1,436,478 | 665,496    | 537,825   | 949,593 | 6,286,228 |
| 18歳未満の人口(1000人)(2003)          | 107,963            | 593,672    | 153,400  | 584,618   | 340,099    | 197,133   | 206,750 | 2,183,635 |
| 5歳未満の人口(1000人)(2003)           | 25,526             | 154,424    | 44,212   | 171,284   | 112,679    | 55,677    | 54,425  | 618,227   |
| 出生時の平均余命(2003)                 | 70                 | 69         | 67       | 63        | 46         | 70        | 78      | 63        |
| 乳児死亡率(出生1000人あたりの死亡数)(2003)    | 34                 | 31         | 45       | 67        | 104        | 27        | 5       | 54        |
| 低出生体重児出生率(1998-2003)(%)        | 9                  | 8          | 15       | 30        | 14         | 10        | 7       | 16        |
| 5歳未満児死亡率(出生1000人あたりの死亡数)(2003) | 41                 | 40         | 56       | 92        | 175        | 32        | 6       | 80        |
| 初等教育純就学率/出席率(1996-2003)        | 87                 | 90         | 79       | 75        | 58         | 93        | 96      | 80        |
| 成人の総識字率(2000)                  | 97                 | 87         | 63       | 54        | 61         | 89        | n/a     | 80        |
| 改善された水源を利用する人の比率(2002)(%)      | 91                 | 78         | 87       | 84        | 57         | 89        | 100     | 83        |
| 適切な衛生施設を利用する人の比率(2002)(%)      | 81                 | 50         | 72       | 35        | 36         | 75        | 100     | 58        |
| 完全に予防接種を受けた比率(1歳児)(%):         |                    |            |          |           |            |           |         |           |
| 結核                             | 95                 | 91         | 88       | 82        | 74         | 96        | n/a     | 85        |
| 3種混合                           | 88                 | 86         | 87       | 71        | 60         | 89        | 95      | 78        |
| ポリオ                            | 89                 | 87         | 87       | 72        | 63         | 91        | 93      | 79        |
| はしか                            | 90                 | 82         | 88       | 67        | 62         | 93        | 92      | 77        |
| B型肝炎                           | 81                 | 66         | 71       | 1         | 30         | 73        | 62      | 42        |
| 妊産婦死亡率(出生10万人あたり)(調整値2000年)    | 64                 | 110        | 220      | 560       | 940        | 190       | 13      | 400       |

# STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2005

## CHILDHOOD UNDER THREAT

| HIV/エイズ 指標 (2003 年末)               | 中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体 | 東アジアと太平洋諸国 | 中東と北アフリカ | 南アジア      | サハラ以南のアフリカ | 米州とカリブ海諸国 | 先進工業国     | 世界         |
|------------------------------------|--------------------|------------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| 成人の有病率 (15-49 歳)                   | 0.6                | 0.2        | 0.3      | 0.7       | 7.5        | 0.7       | 0.4       | 1.1        |
| HIV/エイズとともに生きる人の推定数：成人と子ども(0-49 歳) | 1,300,000          | 2,400,000  | 510,000  | 5,000,000 | 25,000,000 | 2,000,000 | 1,600,000 | 37,800,000 |
| HIV/エイズとともに生きる人の推定数：子ども(0-14 歳)    | 8,100              | 39,000     | 22,000   | 130,000   | 1,900,000  | 48,000    | 17,000    | 2,100,000  |
| エイズにより孤児となった子どもの推定数 (0-17 歳)       | n/a                | n/a        | n/a      | n/a       | 12,300,000 | n/a       | n/a       | 15,000,000 |

| 経済指標                                      | 中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体 | 東アジアと太平洋諸国 | 中東と北アフリカ | 南アジア | サハラ以南のアフリカ | 米州とカリブ海諸国 | 先進工業国  | 世界    |
|---|--------------------|------------|----------|------|------------|-----------|--------|-------|
| 1人あたりの GNI ( 国民総所得 ) (米ドル) 2003           | 2,036              | 1,426      | 1,465    | 511  | 496        | 3,311     | 28,337 | 5,488 |
| 1人あたりの GDP ( 国内総生産 ) の年間平均増加率 (1990-2003) | -0.5               | 6.2        | 2.0      | 3.6  | 0.4        | 1.3       | 1.8    | 2.1   |
| 年間インフレ率 (1990-2003) (%)                   | 102                | 6          | 15       | 7    | 38         | 44        | 2      | 7     |
| 1日1米ドル未満で暮らす人の比率 (1992-2002) (%)          | 6                  | 15         | 3        | 32   | 43         | 10        | n/a    | 21    |
| 政府支出中の比率 (1992-2002) (%)                  |                    |            |          |      |            |           |        |       |
| 保健  | 4                  | 1          | 4        | 2    | n/a        | 6         | 15     | 12    |
| 教育  | 5                  | 8          | 14       | 2    | n/a        | 16        | 4      | 5     |
| 防衛  | 9                  | 11         | 13       | 15   | n/a        | 4         | 10     | 10    |
| 世帯当たりの所得の分布 (1992-2002)                   |                    |            |          |      |            |           |        |       |
| 最下位 40%                                   | 17                 | 16         | 17       | 21   | 11         | 10        | 19     | 18    |
| 最上位 20%                                   | 47                 | 47         | 46       | 42   | 59         | 60        | 42     | 43    |

### 中部・東部ヨーロッパ、独立国家共同体、バルト諸国

アルバニア、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、グルジア、カザフスタン、キルギス、モルドバ、ルーマニア、ロシア連邦、セルビア・モンテネグロ、タジキスタン、旧ユーゴスラビア・マケドニア、トルコ、トルクメニスタン、ウクライナ、ウズベキスタン

### 東アジアと太平洋諸国

ブルネイ、カンボジア、中国、クック諸島、フィジー、インドネシア、キリバス、朝鮮民主主義人民共和国、韓国、ラオス、マレーシア、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦、ミャンマー、ナウル、ニウエ、パラオ、パプアニューギニア、フィリピン、サモア、ソロモン諸島、タイ、東ティモール、トンガ、ツバル、バヌアツ、ベトナム

# STATE OF THE WORLD'S CHILDREN 2005 CHILDHOOD UNDER THREAT

## 米州とカリブ海諸国

アンティグアバーブーダ、アルゼンチン、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、セントクリストファーネーヴィス、セントルシア、セントピンセント・グレナディーン、スリナム、トリニダードトバゴ、ウルグアイ、ベネズエラ

## 中東と北アフリカ

アルジェリア、バーレーン、ジブチ、エジプト、イラン、イラク、ヨルダン、クウェート、レバノン、リビア、モロッコ、パレスチナ自治区、オマーン、カタール、サウジアラビア、スーダン、シリア、チュニジア、アラブ首長国連邦、イエメン

## 南アジア

アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカ

## サハラ以南のアフリカ

アンゴラ、ベニン、ボツワナ、ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、カボヴェルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ、コンゴ民主共和国、コートジボワール、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガボン、ガンビア、ガーナ、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モーリシャス、モザンビーク、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、ルワンダ、サントメプリンシペ、セネガル、セーシェル、シエラレオネ、ソマリア、南アフリカ、スワジランド、タンザニア、トーゴ、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

## 先進工業国

アンドラ、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、バチカン市国、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、モナコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国

## 報告書要約

---

世界が子どもの権利条約に定められた子ども時代の諸要件を受け入れてから、15年が経過した。しかし、子ども時代を健やかに十分な保護を受けながら過ごせることができるようになるという約束は、今なお10億人以上の子どもたちにとって果たされないまままでいる。貧困と紛争、HIV/エイズが子どもたちの命と幸福を脅やかし続けているからだ。そして、あまりにも多くの子どもの子ども時代が危機に瀕している今、我々の共通の未来もまた危機にさらされているのだ。

しかし、この現状をこのまま容認する必要はない。すべての子どもたちにとって、子どもの権利条約に定められた子ども時代のあるべき姿 基準が保証されるように努力することは、私たち一人ひとりに課せられた義務である。政府は私たち一人ひとりの代理としてこの条約を署名、批准したにすぎない。子ども時代を脅かす脅威を削減するためにとることのできる、特定の方法が確かにある。この報告書ではその方法が明らかにされている。

### 主な掲載ページ

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ユニセフ 子ども時代の指標                    | 表 2 |
| まえがき - コフィ・アナン国連事務総長             | vii |
| 世界子供白書要約                         | 2   |
| 子ども時代の定義                         | 3   |
| 子どもの権利の要約                        | 4   |
| 「保護的な環境」の定義                      | 6   |
| ミレニアム開発目標達成に向けての前進状況             | 8   |
| 要約：貧困                            | 15  |
| 子どもの貧困の定義                        | 18  |
| 要約：紛争                            | 39  |
| 戦争反対の課題                          | 47  |
| 要約：HIV/エイズ                       | 67  |
| エイズにより危機に晒される子どもたちを守るために         | 75  |
| 結論：すべての子どもに、子ども時代を               | 87  |
| エッセイ「子どもの人身売買」 - スウェーデン・シリビア王妃   | 90  |
| エッセイ「子どもの貧困を撲滅する」 - ヨセフ・スティグリツ博士 | 96  |
| 世界の子どもたちに関する主要な統計指標              | 103 |